

2008年8月22日 No. 93

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

全国一般全国協

第18回定期全国大会の成功を！

全国一般労働組合全国協議会第18回全国大会が9月6-7日、東京で開催される。貧困と格差社会に反対し、中小・非正規労働者の組織化と生活防衛、権利確立を目指し闘ってきた一年間の闘いの成果・総括を持ち寄り、今後一年間の方針確立に向けて、議論を深め、18回大会の成功を勝ち取ろう。

生活防衛の闘いが、決定的重要さを増す今秋からの闘い

日本経済の深刻な景気後退が伝えられている。一方で、ガソリンの急騰と生活関連物資を中心とした物価の上昇が続いている。景気後退下の物価上昇＝スタグフレーションの危険が予測される。すでに、建設、運輸、卸



6・29 反G8サミットデモ (新宿)

し・小売業の倒産が増え始めている。今秋から来年にかけて、さらに増えていくと見られる。食料を中心とした生活関連物資の急騰は、年収300万以下の世帯や若い年収200万以下の非正規雇用労働者の生活を直撃する。

中小・非正規労働者の反倒産、生活防衛の闘いの重要性を確認し、闘いの準備

派遣法の改定を中心に、労働分野の規制強化を闘い取ろう！

大会の第二の課題は、労働分野の規制強化に向けた取り組みの意思統一を図ることだ。新自由主義的、構造改革・規制緩和攻撃の嵐が吹き荒れたここ10数年間、労働分野でも規制緩和どころか、規制撤廃とも言える事態が進んできた。非正規雇用の拡大、長時間労働、サービス残業の横行を許す、労働基準法、労働者派遣法の改悪、労働契約新法の制定がそれだ。しかし、名ばかり管理職の告発、悲惨な日雇い派遣、製造現場を渡り歩く派遣労働の実態が暴露されるなど、労働者保護

を始めなければならない。大会の第一の課題だ。

組織化に全力を！労働者学習活動を全国で取り組もう！

中小・非正規労働者の怒りの声を、ユニオンとして表していくこと、個人相談から集団的労使関係へ闘いを広げること、組織化に全力を上げ取り組もうと、この一年間訴えてきた。この取り組みの中で、組織化の担い手を育てることの重要性が改めて確認されてきた。系統的な学習を通じ、組合員の少なくとも1割を組織化の担い手にしていくことに今年は取り組みたい。労働学習教科書「富と貧困はなぜ広がるのか」をテキストにした学習活動を全国で取り組もう。

第18回 定期全国大会
 日時●2008年9月6日(土) 13:00から
 同 7日(日) 12:00まで
 会場●東京亀戸・カメラプラザ9F
 TEL03-5626-0021(商工情報センター)

この潮目の変化を、現実のものにするために、派遣法にとどまらず、過労死防止法、労働時間管理の強化を図る基準法改定などを目指そう。

派遣法の廃止を目前し、まず、労働者保護のための派遣法改正を勝ち取るぞ！

派遣法改正に向けた動きは、野党4党が院内集会を積み上げ、共同改正案づくりの努力を積み上げてきたが、まとまり切れていない。

一方、与党P7がかかり踏み込んだ提言を7月始めにまとめ、厚生労働省が設置した研究会の報告が7月下旬に発表され、労政審労働力需給部会の審議が始まるなど、派遣法改正を巡る動きが激しくなっている。秋の臨時国会にかけられる予定だ。問題は、その中身だ。

安定雇用を原則とする常用代替禁止、日雇い派遣、登録型派遣の禁止、業種の限定(99年改定前の26業種に限定)、「みなし雇用責任」を始めとする派遣先責任の強化、もっぱら派遣の禁止、マージン率の規制などを要求していかねばならぬ。

また、六月中旬から続けている組合事務所での泊り込みも二ヶ月を越える中、会社からの立ち退き攻撃も予想されていますが、支援共闘と安倍川労組、静岡ふれあいユニオンは、九月三日の都市対抗野球に出場する王子製紙への行動などを計画しながら闘いを進めています。

8.4 偽装請負・解雇問題で提訴 安倍川労組支援共闘

王子特殊紙・東海工場・静岡製造所(旧・安倍川製紙)の閉鎖をめぐる闘いは七月三十一日に閉鎖が行われたことをはさんで大きく変化しました。

七月一日には支援共闘との団体交渉の席で会社が「もう交渉はしない」と、表明したこと。これに対して七月十六日、支援共闘と安倍川労組は共同で労働委員会に救済の申し立てを行いました。

そして一緒に闘ってくる中、六月二十四日に静岡労働局から、偽装請負に関する是正指導を実現した静岡ふれあいユニオン・斎藤桐包分会の人たちが七月三十一日で解雇となり、八月四日に、雇用関係確認と、損害賠償を求めて提訴をしました。

この松下プラズマの闘いに続くこととする裁判にはすでに多くの若手弁護士が結集しています。



7・29王子製紙本社前行動

目安による最低賃金抑制を許すな！

洛南ユニオン

8月6日、中央最低賃金審議会から全国平均15円引き上げの目安の答申がおこなわれた。最低賃金が生活保護基準より下回る12都道府県については、生活保護基準と最低賃金の乖離額を2年から5年で割った数字と、Aランク15円、Bランク11円、Cランク10円、Dランク7円のランク別金額と比較して、高い方の金額とするとされた。

一見すると昨年の全国平均14円より1円と高く、昨年来の最低賃金引き上げの動きを堅持したかに見える。しかしこの内容は中央円卓会議の5年で小規模事業所の高卒初任給の一番、低い水準に最低賃金(政府、労働側では755円)を引き上げるという、最賃抑制の政労使合意を大枠で維持するものである。

それは生活保護基準が「若年単身世帯の生活扶助基準の都道府県人口加重平均に住宅扶助の実績値」を加えたものとされ、勤労控除や冬季加算、基礎控除などがすべて除外され極めて低い水準とされたことによる。この計算で最低賃金と生活保護の乖離が最大の県は神奈川県(89円)であり、生活保護基準は825円となる。現行の神奈川県最低賃金は736円であるが、目安の生活保護基準の考え方では、神奈川県では最低賃金は825円以上にはなら

ないということだ。更に沖縄など最低賃金は618円で最低ランクであるが、生活保護基準を下回っており、Dランク7円が目安の引き上げ基準となっている。7円あがっても625円である。最低賃金は抑制され地方格差が拡大するというのが今回の目安である。

これでは欧米並みの1000円から1200円などまったく無縁である。このままでは最低賃金が700円から800円に固定されるという事態になりかねない。働く労働者の最低生活を保障する最低賃金がこのような低水準に切り下げられるのを許してはならない。目安の低額提示を跳ね返し、最低賃金の大幅引き上げを実現しよう。

「過労死をなくそう!龍基金」第2回中島賞授賞式 マクドナルド「名ばかり店長」の高野さんを表彰

過労死の撲滅に取り組んでいる「過労死をなくそう!龍基金」(中島晴香代表)は8月2日、第2回中島賞雄賞授賞式をかつしかシンフォニーヒルズで開催、150人を超える参加者が集まりました。

今年の受賞者は日本マクドナルドを相手取って裁判を起こしている現役店長の高野廣志さんです。過労死の温床となっている「名ばかり管理職」を社会問題化し、働く人の待遇改善に尽力したことが評価されました。授賞式で高野さんは「過労死のない社会にしていきたい」と涙ながらにあいさつ。妻の邦子さんも「悩んでいる人は勇気をもって立ち上がってほしい」と話しました。

第2部の経過報告では中島賞雄さんと同じ「すかいらーく」で過労死した「契約店長」であった前沢隆之さんのお母さんが会社との今後の交渉に臨む決意を述べました。



8・2 第2回中島賞授賞式(東京葛飾)

7.25 県労委で勝利命令(東芝)

全国一般神奈川

全国一般神奈川は東芝に対し団交を求めてきましたが東芝は団交を拒否し続けてきました。そのため、我々は2006年に神奈川県労働委員会に救済申し立てを行いました。

2007年2月に最高裁で組合員の二重加盟問題や団交を求める地位について全国一般神奈川らが勝訴すると、東芝はしぶしぶ団交に応じましたが、資料などは一切開示せず、協約や便宜供与も完全に拒否し、我々

を敵視した態度を繰り返してきました。

7月25日に県労委から命令が出ました。命令では団交拒否と不誠実団交を認め、今後の団交での資料を提示又は交付と内容について説明を行うことと謝罪文の交付です。残念ながら便宜供与は、団交で協議中でありまだ組合間差別とは言えないと判断されたので、中労委に再審査を申し立てました。今後とも御支援をお願いします。

7.8 府労委傍聴闘争(大阪京阪タクシー)

新都市交通労組

全国ハイタク共闘会議は7月8日、大阪京阪タクシーの府労委傍聴に取り組みました。京阪タクシーでは協定を無視した一方的な賃金体系の不利変更に対し、差額訴訟も含めて不当労働行為を争っています。今回は焦点の反対尋問というところで神奈川・九州から駆けつけ傍聴席を埋め尽くし、御用組合と結託した京阪経営者に圧倒的な闘いの力を見せつけました。

また、神奈川では全国一般神奈川と協力し日野交通(横浜市鶴見区)の不当解雇撤回に取り組んでいます。「暴力事件」をでっち上げたのはいが検察は不起訴、それなら解雇理由はなくなっただけか？？原則的に組合として会社の姿勢を糾したことが唯一の理由で一意に沿わないから解雇なのです。既存組合(全自交)は組合活動そのものが解雇理由であるにもかかわらず、解雇に反対も出来ません。全国ハイタクは解雇撤回まで闘います。

外国人研修生権利ネット ワーク北九州・発足集会

5月18日、「外国人研修生権利ネットワーク北九州」の結成集会が開催されました。

集会では、全統一労働組合書記長の鳥居一平さん、ジャーナリストの安田浩一さんに講演をしていただきました。約60名の労働者・市民が参加し、研修生・実習生の実態について熱心に聴き入りました。

講演の他に、移住労働者 ネットワーク九州の井上幸雄さん、連帯労組やまぐちの麻田茂樹さんより、連帯のアピールが行われました。また、労災治療中の信和鋼板当該のインドネシア人Hさんからのメッセージが読み上げられました。

日進運送で脱退工作、迅速な対応で団結を維持!

いわき自由労組

日進運送労組は、結成当初からユニオンショップ締結を会社側に要求してきましたが、「組合に加入するかどうかは個人の自由」という理由で拒否してきました。

7月22日、会社側は4名の組合員に脱退をそのかし、内容証明郵便で脱退届を送付させました。組合は、会社側の不当労働行為である分裂工作に抗議し直ちに辞めさせる為の団交を行うことを決定しました。

春闘指名ストに100人参加

東京南部・ベルリッツ支部

3月14日からベルリッツ・ゼネラル・ユニオン・東京(ベグント)は、08年度春闘の要求、4.6%ペースアップと1ヶ月分ボーナスを



7・6 ストライキ中のベルリッツ新宿校前

実現するためにストに入った。講師の基本給は長年にわたって下がる一方で、会社はここ2年間連続の売り

な配車や歩合を実現することが、全従業員・個人の利益につながる。脱退届者に説明し説得し、もう一度組合員として迎え入れ、日進運送労組の団結と統一を守る「ことを確認し、交渉と説得を継続する中、最終的に、7月28日に労使の立ち会いの下、脱退者は脱退届を撤回しました。

今回の取組では、実質的なユニオンショップ状態に持って行けたことが成果でした。今後とも団結をさらに固めて組合を強化していくつもりです。

7-19 原子力空母Gワシントンはいらない！ ヨコスカ現地集會に1万5千人

7月19日「原子力空母の横須賀母港化を許さない全国集會」に、予想を大きく超える1万5千人が集まった。全国一般全国協も徳島や東京・神奈川など30人以上が参加した。イラクやアフガンを空爆してきた空母ジョージワシントンだが、その原子炉2基が、もしメルトダウンと水蒸気爆発事故

故を起したら、横須賀から首都圏165km以内の住民100万人以上死亡が予測されている。5月の南米沖演習中の重大火災事故で艦長・副艦長ともに更迭され、8月入港予定が一ヶ月延期となっている。9月末「原子力空母いらない！」のヨコスカ現地行動へ！



5月21日(徳島県・赤石港)米海軍ミサイルフリゲート艦寄港抗議行動を250人でたたかう

7-16 「応援する会」結成総会に100人

7月16日夜、上野区民館で「韓国シチズン精密労組を応援する会」結成総会が



7-16 「応援する会」結成総会(上野区民館)

韓国シチズン精密労組

開催され、約百人が参加した。韓国シチズン精密は、20年前にシチズン時計100%子会社(資本金44億W)として慶尚南道・昌原市に設立され、高級腕時計を組立て輸出してきた。

しかし、本社シチズンホールディングス(東京田無)が、ここ3年の売上高減で資本撤収を画策、「事前協議・合意」の団体協約を一切無視し、韓国内の製靴企業(資本金2億W)に偽装

売却したのが4月24日、組合への通告が同28日だった。以来「偽装売却撤回、雇用不安解消」を求めて組合員94人は徹夜籠城体制に入

たが、これに対して損害賠償・懲戒解雇などの攻撃が続いている。その中で5月14日第1次、6月5日から第2次遠征団の交渉要求に、シチズン本社は「関係ない」と拒否し続けている。03年韓国シチズン争議、06年韓国山本争議を引き起こし、今度は「株式売却」方式の資本移転で雇用責任を居直るシチズンを許さず、共にたたかい支援しよう。

整理解雇は許さない！

東京労組・書泉労働者組合

去る3月20日に(株)書泉は40歳以上の社員40名中の35名に対して、希望退職提案を行いました。

10年前に川口に出店した書泉ブックドームの累積赤字が主な理由でした。「年齢の高い者から35名辞めてもらいたい」という発言も途中から言われるようになり、希望退職といいつながら、年齢の高い者にとっては選択肢のない退職強要でした。

応募がなかなか35名の人数に足りないという見や、職場では肩たたきもはじまるなどしました。私たちの組合員は全員が対象の年齢になっていたため、組合の消滅を狙った組合つぶし攻撃でもありました。最後まで「希望」退職に応じなかった11名(うち書泉労組10名・他労組1名)に対して、7月4日付で整理解雇が強行されました。



現在は都労委の斡旋も行いながら会社との交渉をしています。会社は頑なな態度をとり続けています。なりふりかまわぬ会社の首切り合理化に対し、私たちは職場復帰をめざし闘います。ご支援をよろしく願います。

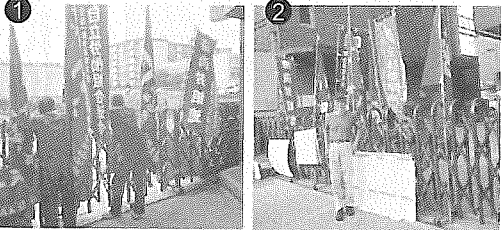
大美堂破産占拠闘争 〜現在も職場占拠闘争中

ユニオンネットワーク

急遽かけつけた洛南ユニオン、きょうとユニオン、京印労の仲間とともに大美堂労組の仲間と、動揺する労働者にたいし、組合加盟と職場占拠を訴えた。その結果、労働者の過半数が大美堂労組に加盟し占拠闘争に参加した。すでに二か月近くがたとうとしているが、労働債権確保、事業継続も含めた雇用確保を、労働組合として戦い抜くべく工場

京都に参加する大美堂労働組合の仲間が働く、(株)大美堂が6月27日に突如、破産した。当日、急遽、事務所に集められた労働者に対し社長は、「申し訳ありません、会社は閉鎖します、あとは代理人の南弁護士にまかせます」といったきり逃亡した。南弁護士は「破産準備のために全員解雇する。30分で荷物をまとめ退社するように」と一方的に

通告した。急遽かけつけた洛南ユニオン、きょうとユニオン、京印労の仲間とともに大美堂労組の仲間と、動揺する労働者にたいし、組合加盟と職場占拠を訴えた。その結果、労働者の過半数が大美堂労組に加盟し占拠闘争に参加した。すでに二か月近くがたとうとしているが、労働債権確保、事業継続も含めた雇用確保を、労働組合として戦い抜くべく工場



大美堂印刷08.6.27破産、ただちに職場占拠。
①敷地中から、②敷地外(入り口)から

占拠を継続し、地域の仲間の支援を受けながら奮闘している。長期にわたる占拠闘争への全国協の仲間の支援を要請します。